

(様式第4号)

上田市塩田公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	上田市塩田公民館運営審議会
2 日時	令和4年3月28日(月) 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	塩田公民館第一学習室
4 出席者	龍野会長、西澤副会長、羽田委員、増澤委員、井上委員
5 市側出席者	小宮山館長、田中次長、小池主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年3月31日

協議事項等

1 開会
2 会長あいさつ  公民館長あいさつ
3 報告事項 (1) 前回審議会会議概要 (事務局) 資料1に基づき説明  (2) 令和3年度塩田公民館事業実績について (事務局) 資料2に基づき説明 (委員) YouTube Live の参加者が少なかったが、小学校で広報をしたか。 (事務局) 学校の方から CD を作成する関係で、広報は控えてほしいとの話があった。そのため、学校を通して児童にチラシのみ配布を行った。 (委員) オンライン防災講座は YouTube のみで行ったのか。UCV では放映しなかったか。 (事務局) YouTube のみで行った。 (委員) 公民館でオンラインの取り組みが始まったのは、非常に良いことだと思う。去年はこういう取り組みがなかったので、感謝したい。
4 協議事項 (1) 令和4年度塩田公民館事業計画について (事務局) 資料3に基づき説明 (委員) 講座や事業を行う際の開催の判断基準はあるのか。 (事務局) 上田圏域の感染警戒レベルが5以上の場合は中止としている。 (委員) 社会体育の春ポカポカウォークや塩田平健康ウォークなどは、外での事業なので一律に中止としなくても開催できるのではないか。 (事務局) 社会体育事業については、分館の体育部長に協力をいただいて開催している。事業を行う前に体育部長会で開催の可否について協議をしているが、どうしても意見が二分される。そうすると、住民の安心安全を考え、中止という判断になってしまう。 (委員) 高齢者の視察研修というのはどういうものを考えているのか。 (事務局) コロナ前は、県外などにバスで視察に行っていた。コロナ禍では難しいと考えている。 (委員) まちづくり協議会と共催してカルタ大会は考えているか。 (事務局) 今後、計画に入れていきたいと考えている。 (委員) 独鈷山登山は考えているか。 (事務局) 登山道が整備されていないため、昨年からは春ポカポカウォークに変更した。 (委員) 塩田中の合唱祭のライブ配信を行うなら、ぜひ、参加者が多くなるよう、学校と公民館で

調整していただいて事業を行ってほしい。

(事務局) ライブ配信については、学校の中でも、著作権などの問題から、意見が割れている。塩田中については、今年の開催について、相談したところ、前向きに検討する旨、回答いただいた。

(2) 第8期公民館運営審議会諮問案件について

(事務局) 資料4、資料5に基づき説明

(委員) 公民館だよりが回覧になってしまったが、ホームページから打ち出しすることはできるのか。

(事務局) 打ち出しできる。

(委員) 答申(案)についての意見はいつまでに提出すれば良いか。

(事務局) 5月中旬ぐらいまでにいただきたい。

(3) その他事項

(事務局) 公民館運営審議会を市で一つにしてはどうかということについて、ご意見を伺いたい。

(委員) 地域協議会は、この4月から、丸子、真田、武石はそのまま、旧上田地域は右岸と左岸にわかれることになった。

(委員) 公民館は地域ごと特色があるので、今までどおり、公民館ごと設置されている方が望ましい。

(委員) メリット、デメリットを精査したうえで議論した方がよいのではないか。

(事務局) 公民館には地域固有の歴史や文化、特色があるが、コロナや災害が発生し、統一した対応を求められることが多くなってきた。合併後、統一ができていないことがある。他市も公運審を一つにしてきているところが多い。県内では公運審を設置している市が17市あるが、そのうち一つにしているところが10市、公民館単位で設置しているのが7市である。上田市内でも中央地域では、地域に根差したという考え方が薄れてきている。地域性がなくなってきているのかもしれない。

(委員) 公民館活動は長野県は盛んである。塩田地域も特に根付いている。

(委員) 公民館活動はボトムアップの活動である。

(委員) 公民館は住民にとって最も身近な学習拠点である。

(委員) 塩田は、今までどおり、公民館ごと設置するという意見としたい。

5 その他

(事務局) 次回の会議は、6月ぐらいということをお願いしたい。

6 閉会